

(様式4)

公共事業事後評価調書

番 号	教育-1	事業担当局課	教育委員会事務局学校計画課 教育施設課	
事業名	田奈・奈良中学校第二方面校（仮称）整備事業 [あかね台中学校整備事業]		完了年度	平成 22 年度
施工場所	横浜市青葉区あかね台二丁目 8 番地の 2		経過年数	6 年
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>田奈中学校（緑区）および奈良中学校（青葉区）の過密化を解消するとともに、生徒の教育環境の向上を図るため、青葉区内の学校予定地に中学校を新設し、教室数不足を解消しました。</p> <p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none">・用地取得のうち校舎・体育館等を整備し、中学校を新設しました。 <p>工事期間 平成 21 年 10 月～平成 23 年 3 月</p> <p>開 校 平成 23 年 4 月</p> <p>総事業費 25 億 6,172 万円（建物 23 億 6,669 万円＋校地 1 億 9,503 万円）</p> <p>施設内訳</p> <ul style="list-style-type: none">・敷地面積 21,514 m²・延べ床面積 11,654.23 m²・構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造・規模 地上 2 階建て 一部 3 階建て・高さ 12m（3 階建て部分） <p>普通教室 (18CR)</p> <p>個別支援教室 (3CR)</p> <p>特別教室 (13CR)</p> <p>その他 管理諸室、屋内運動場、武道場等</p>			
要因の変化 ・ 事業計画の 変更の経緯 等	<p>事業費や事業期間、施設の利用状況等について、大きな変更はありませんでした。</p> <p>なお、本事業は田奈中学校及び奈良中学校の生徒数増加に伴う分離新設事業であり、一般的に、学校整備事業について、「B/C（費用対効果分析）」の概念は導入していません。</p>			
事業の効果の発現 状況 (費用便益分析等)	<p>① 教室数不足の解消</p> <p>田奈・奈良中学校第二方面校（あかね台中学校）の建設（平成 23 年度開校）により、田奈中学校・奈良中学校において、過大規模校及び大規模校の問題点を解消しました。</p>			

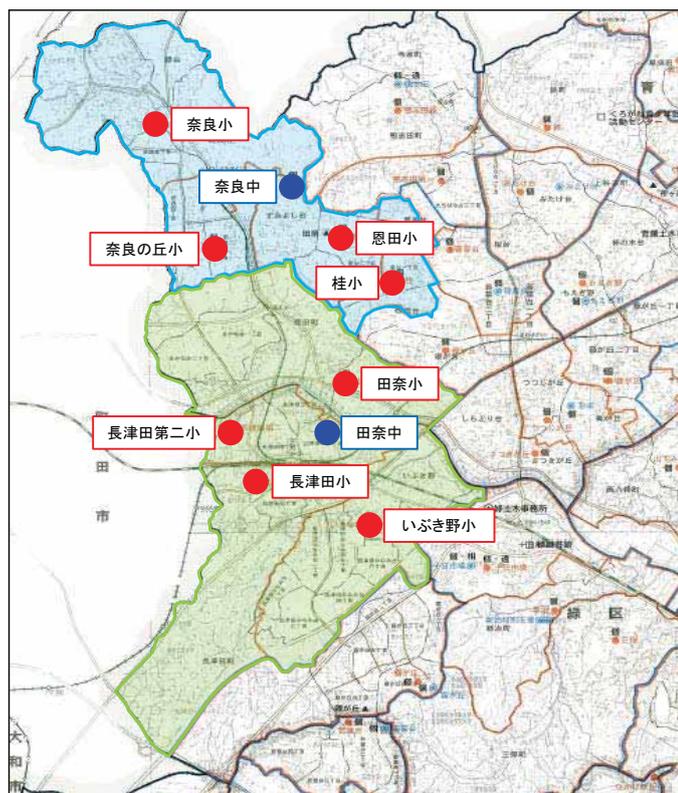
	<p>② 配置等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通風・採光に配慮した建築計画とし、良好な学習環境を確保しました。 ・外観のデザインや開放感のある中庭など、魅力的な空間を創出しました。 ・北側校舎を2階建てにするなど、周辺に配慮した計画としました。 ・地域ケアプラザと体育館・地域交流室を近接して配置し、地域交流ゾーンを形成しました。 ・生徒、教職員、保護者、地域住民等の多様な人々が利用しやすいようにバリアフリーとしました。 ・特殊な材料、工法を極力用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。 ・周辺住宅へ配慮し、学校周辺を緑化しました。 ・環境へ配慮し、太陽光発電設備を屋上に設置しました。 									
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="383 745 625 801">費用便益分析</td> <td data-bbox="625 745 853 801">総便益(割引後)</td> <td data-bbox="853 745 1409 801">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="383 801 625 857">(検討年数： 年)</td> <td data-bbox="625 801 853 857">総費用(割引後)</td> <td data-bbox="853 801 1409 857">—</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="625 857 853 913">費用便益比</td> <td data-bbox="853 857 1409 913">—</td> </tr> </table>	費用便益分析	総便益(割引後)	—	(検討年数： 年)	総費用(割引後)	—		費用便益比	—
費用便益分析	総便益(割引後)	—								
(検討年数： 年)	総費用(割引後)	—								
	費用便益比	—								
対応方針	<p>本中学校は、平成 23 年度一般学級数 18 学級で開校し、平成 28 年度義務教育人口推計では、平成 34 年度には 12 学級になると推計しています。</p> <p>今後、学級数が減った場合でも、学校教育活動上、必要な教室として、習熟度別指導や総合学習などで使用しますので、今後も当初計画通り施設を活用していきます。</p>									
添付資料	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>									

田奈・奈良中学校第二方面校(仮称)整備事業 あかね台中学校整備事業の概要



I 事前評価

1 田奈・奈良中学校の当時の通学区域図 (事前評価実施年度＝平成20年度)



2 平成19年度の義務教育人口推計と田奈・奈良中学校第二方面校の建設の経緯

学校名		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
田奈中 保有29教室	生徒数	995	1,041	1,127	1,164	1,204	1,209	1,228
	学級数	26	27	29	30	31	32	33
奈良中 保有25教室	生徒数	891	935	964	995	1,038	1,012	999
	学級数	24	24	25	26	27	26	26

不足教室対策の検討

- ◆田奈中学校の内部転用または増築 = すでに内部転用が困難、増築スペースがない
- ◆周辺校との通学区域調整 = 周辺校も生徒数が増加傾向であり調整が困難



田奈・奈良中学校第二方面校(あかね台中学校)の建設

◎あかね台に中学校を整備することで田奈中学校の過密状態を解消し、隣接する奈良中学校の通学区域を取り込むことで、奈良中学校の大規模校状態も解消できる。

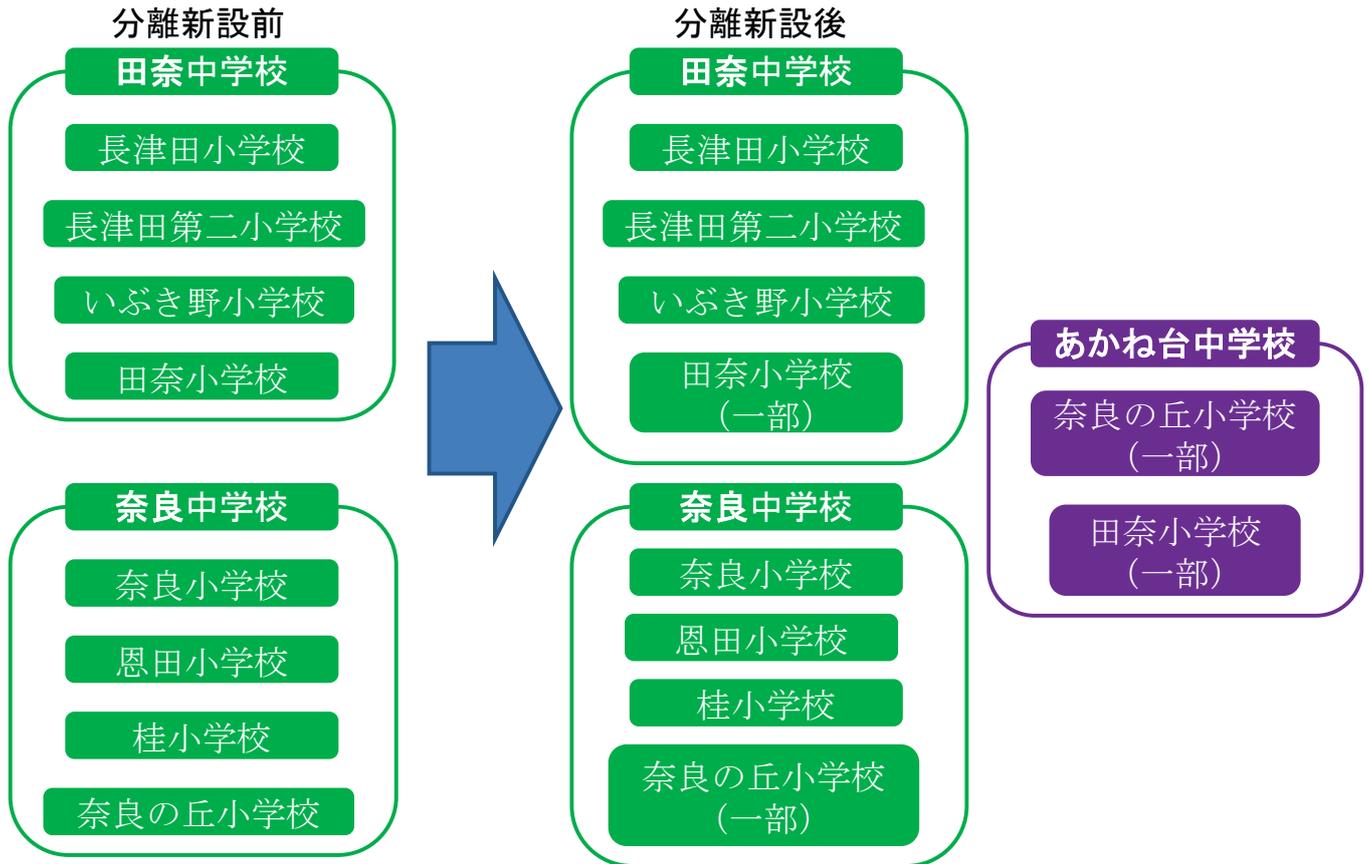
3 田奈・奈良中学校第二方面校(あかね台中学校の概要)

設置場所 : 青葉区あかね台二丁目8番地の2
 開校予定年月日 : 平成23年4月1日
 校地面積 : 21,514m²

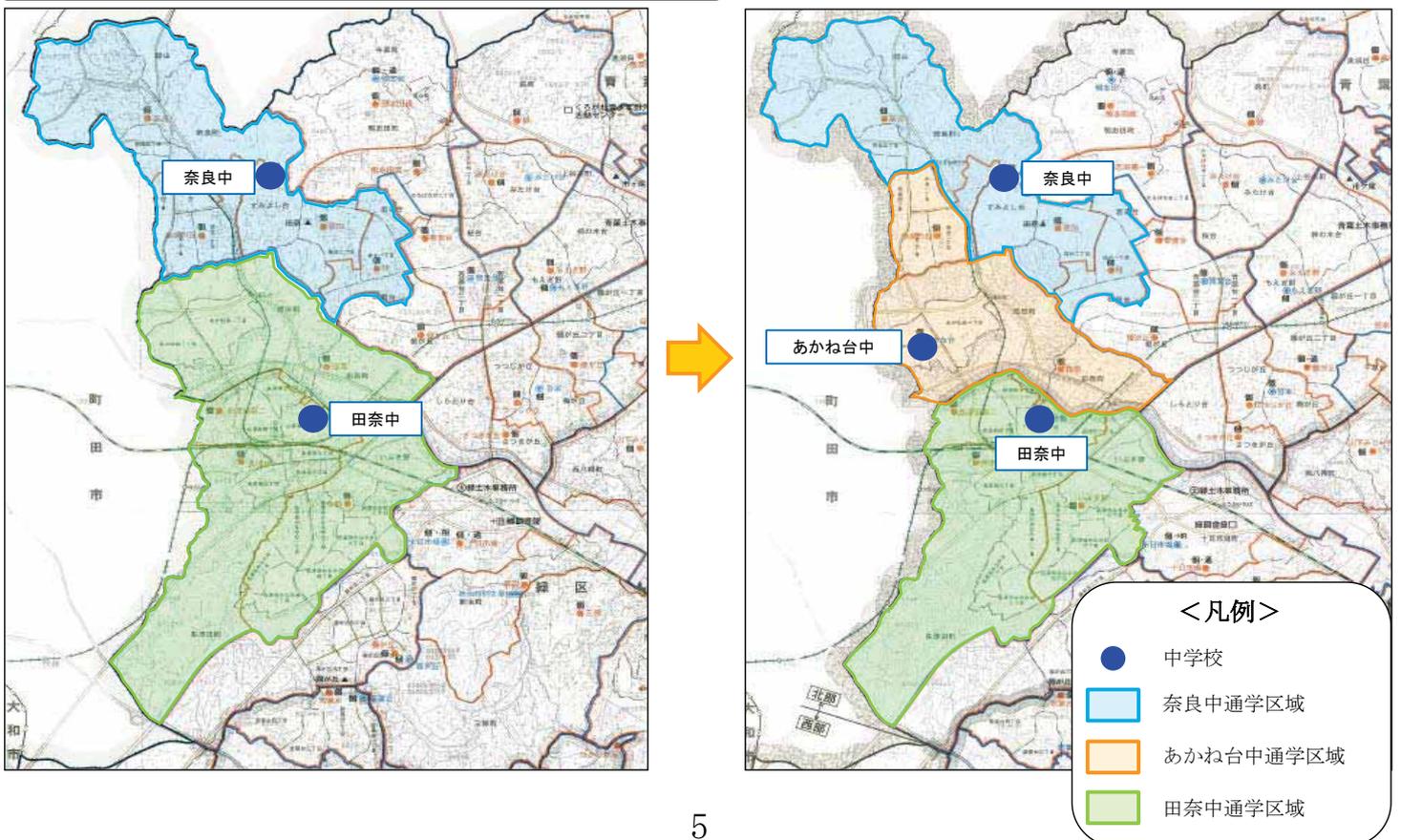
新設校の施設等の概要

- 普通教室 : 18教室
- 個別支援教室 : 3教室
- 特別教室 : 13教室
- その他 : 管理諸室、屋内運動場、武道場等

4 分離新設前と分離新設後の関係小学校



5 分離新設後のそれぞれの通学区域



Ⅱ 事後評価

開校前年度の推計と現在の推計

平成22年5月1日現在
検討推計

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
あかね台中 (18教室)	生徒数	/	676	645	620	580	572	533
	学級数		18	17	16	15	15	15
田奈中 (30教室)	生徒数	1,168	888	890	905	895	911	933
	学級数	30	24	24	24	24	25	25
奈良中 (21教室)	生徒数	977	679	672	688	637	622	559
	学級数	26	18	18	18	17	16	15

平成28年5月1日現在の実数及び推計

(28年度までは各年5月1日現在の実数値。29年度以降は推計値)

※各年度の教室使用状況によって、教室数は変動します。

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
あかね台中 (19教室)	生徒数	/	659	651	671	639	622	579	540	488	461	448	432	428
	学級数		18	18	18	18	17	17	16	14	13	12	12	12
田奈中 (30教室)	生徒数	1,168	914	931	946	946	955	964	1,011	994	982	968	951	935
	学級数	30	24	25	25	25	25	26	27	26	25	25	25	25
奈良中 (21教室)	生徒数	977	689	685	721	668	674	624	622	571	537	524	527	522
	学級数	26	18	18	20	18	18	17	17	16	15	15	15	15

あかね台中学校・田奈中学校・奈良中学校すべて、生徒数は予測した推計より増加傾向で推移しています。特に田奈中学校は、通学区域内に当初見込んでいなかった開発があったため、あかね台中学校を整備しなかった場合、生徒数増加に伴い、学級数は30学級を超え、教室数不足が発生していたと考えられます。

Ⅲ 事業の概要

1 事業概要

所在地	横浜市青葉区あかね台二丁目8番地の2
総工事費	25億6,172万円 (建物23億6669万円＋校地1億9503万円)
工事期間	(建物)平成21年10月～平成23年3月 (校地)平成22年7月～平成23年3月



2 施設概要

2-1 施設概要

・敷地面積	21,514㎡
・延べ床面積	11,654.23㎡
・建築面積	約6,200㎡
・構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
・規模	地上2階建て 一部3階建て
・高さ	12m(3階建て部分)

2-2 整備諸室

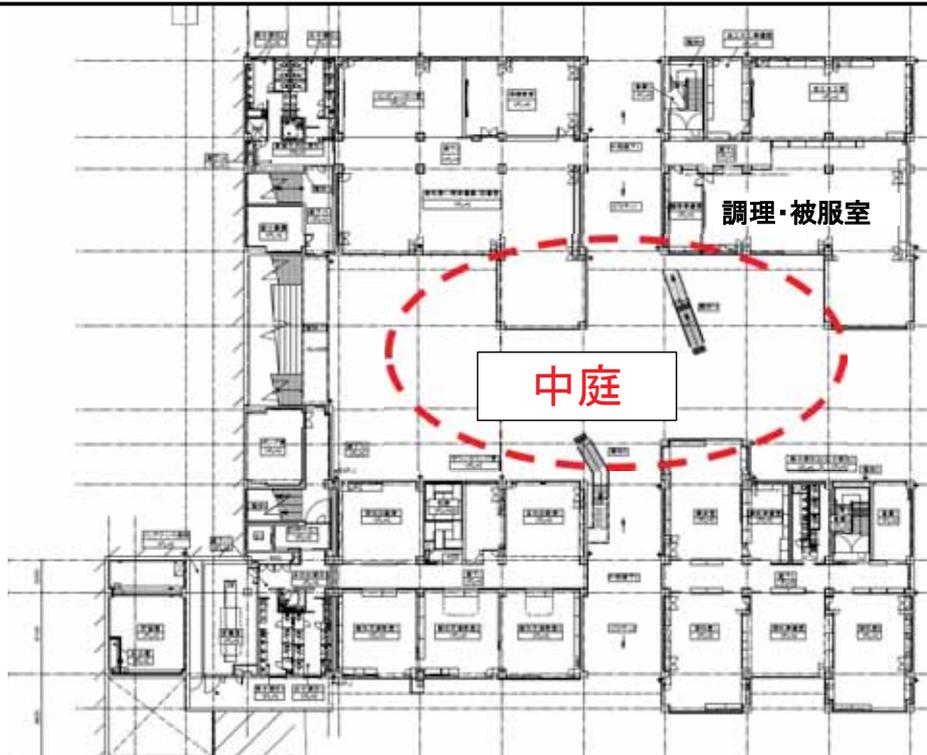
- ・ 普通教室 (18CR)
- ・ 個別支援教室 (3CR)
- ・ 特別教室 (13CR)
第一・第二理科室、第一・第二音楽室、美術室、金工木工室、調理室、被服室、メディアゾーン(図書室・視聴覚室・コンピューター室)、教育相談室、進路相談室
- ・ その他
管理諸室(職員室、校長室、保健室等)、屋内運動場、武道場、プール、その他諸室(倉庫等)、地域交流室、多目的室

3 建物計画

■施設の主な特徴

- 1) 通風・採光に配慮した建築計画とし、良好な学習環境を確保しました。
- 2) 外観のデザインや開放感のある中庭など、魅力的な空間を創出しました。
- 3) 北側校舎を2階建てにするなど、周辺に配慮した計画としました。
- 4) 地域ケアプラザと体育館・地域交流室を近接して配置し、地域交流ゾーンを形成しました。
- 5) 生徒、教職員、保護者、地域住民等の多様な人々が利用しやすいようにバリアフリーとしました。
- 6) 特殊な材料、工法を極力用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。
- 7) 周辺住宅へ配慮し、学校周辺を緑化しました。
- 8) 環境へ配慮し、太陽光発電設備を屋上に設置しました。

- 1) 通風・採光に配慮した建築 計画とし、良好な学習環境を確保
- 2) 外観のデザインや開放感のある中庭など、魅力的な空間を創出



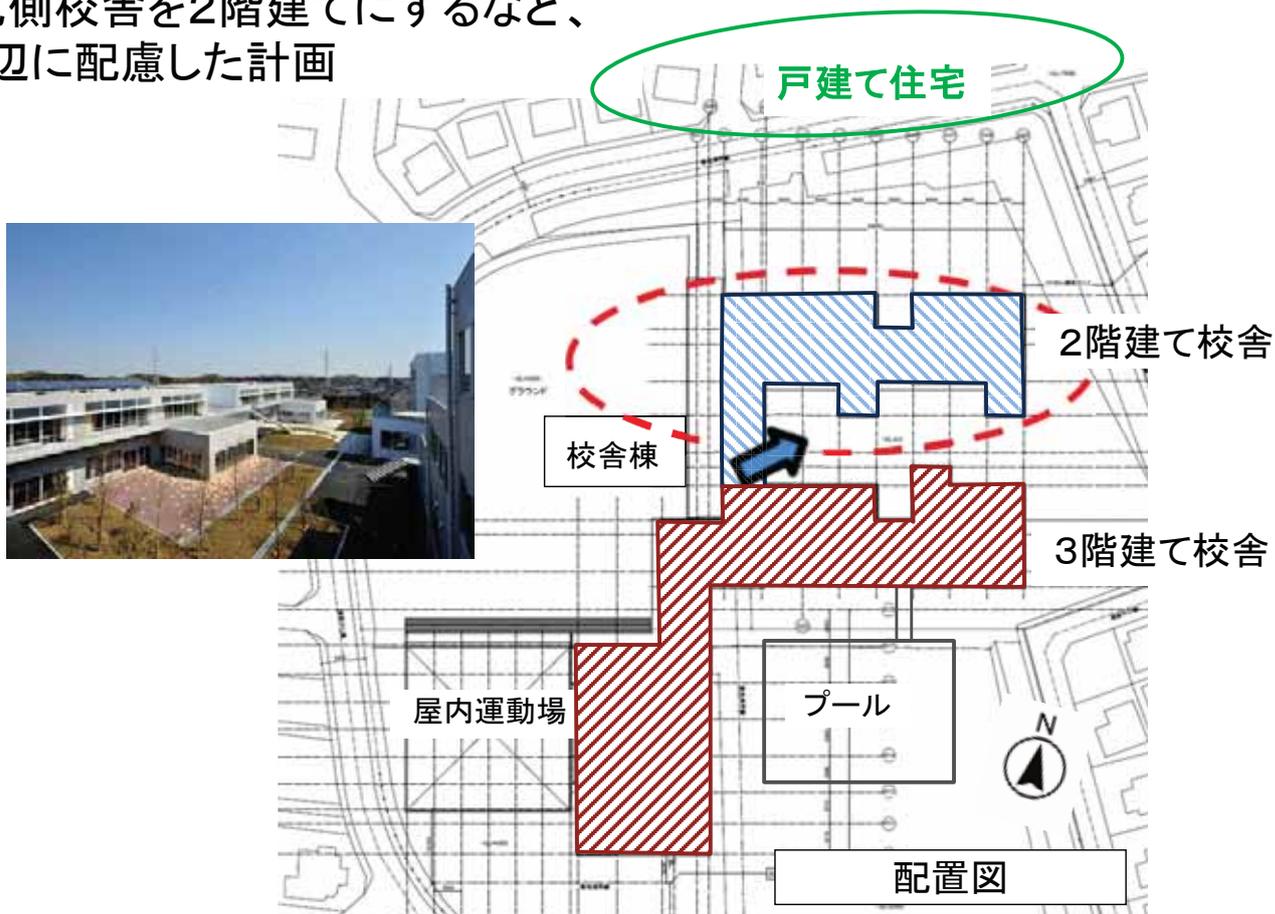
校舎棟 1階平面図



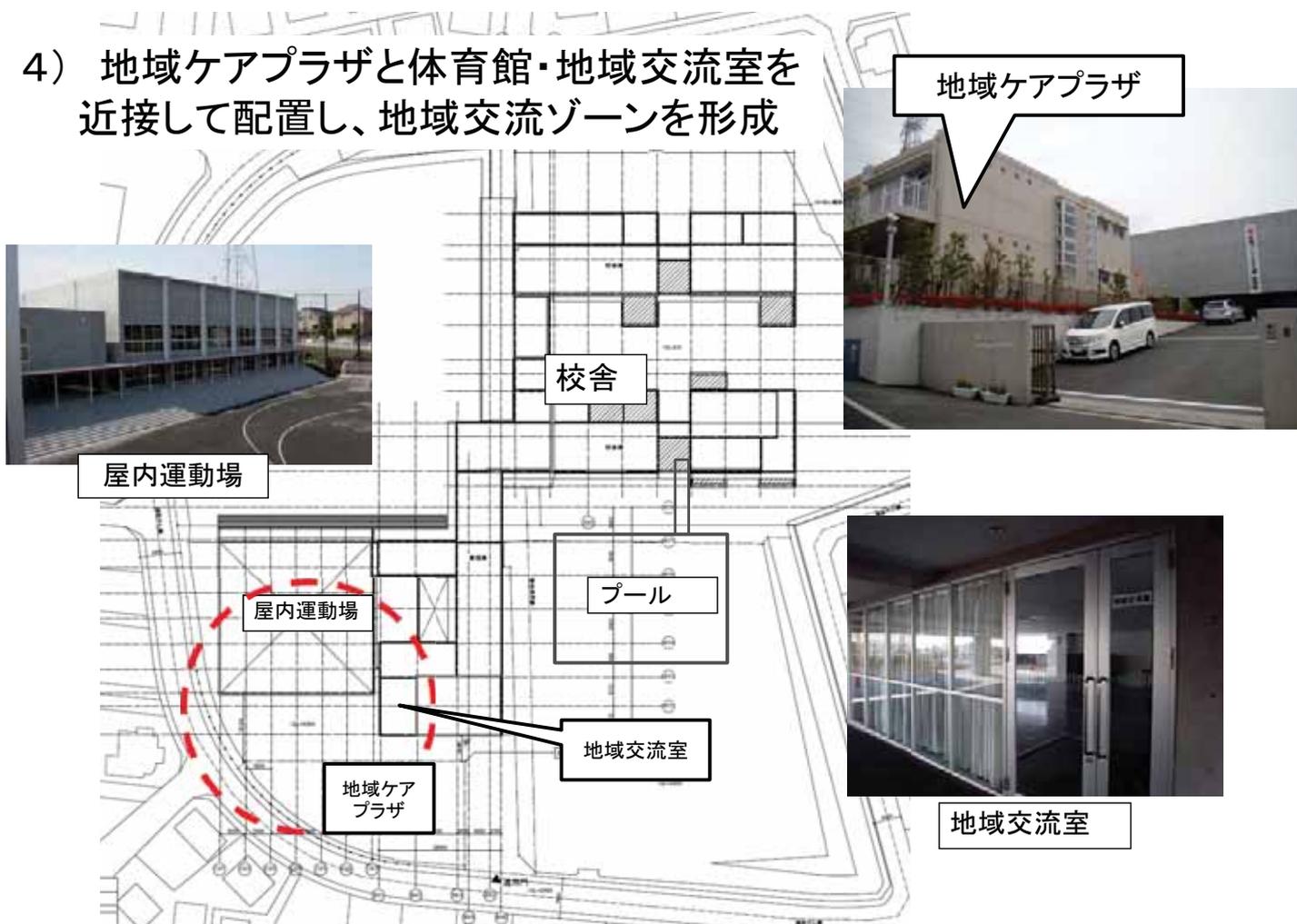
調理・被服室

中庭

3) 北側校舎を2階建てにするなど、
周辺に配慮した計画



4) 地域ケアプラザと体育館・地域交流室を
近接して配置し、地域交流ゾーンを形成



5) 生徒、教職員、保護者、地域住民等の多様な人々が利用しやすいようにバリアフリー化

エレベータの設置



グラウンドと校舎のレベル差をスロープにより解消



生徒昇降口

スロープにより
段差解消

6) 特殊な材料、工法を極力用いず、汎用性の高い材料、工法を利用



■外部仕上げ
＜校舎棟＞

屋上：アスファルト防水 保護コンクリート
断熱材：硬質ポリエチレンフォーム板
外壁：コンクリート打ち放し



■内部仕上げ<代表的な部屋>

< 普通教室 >

天井：化粧吸音石膏ボード
 壁：シナ合板目透し張り
 巾木：ビニル巾木
 床：ビニル床タイル



< 理科教室 >

天井：化粧吸音石膏ボード
 壁：シナ合板目透し張り
 巾木：ビニル巾木
 床：ビニル床シート張り
 (耐酸ビニル系)

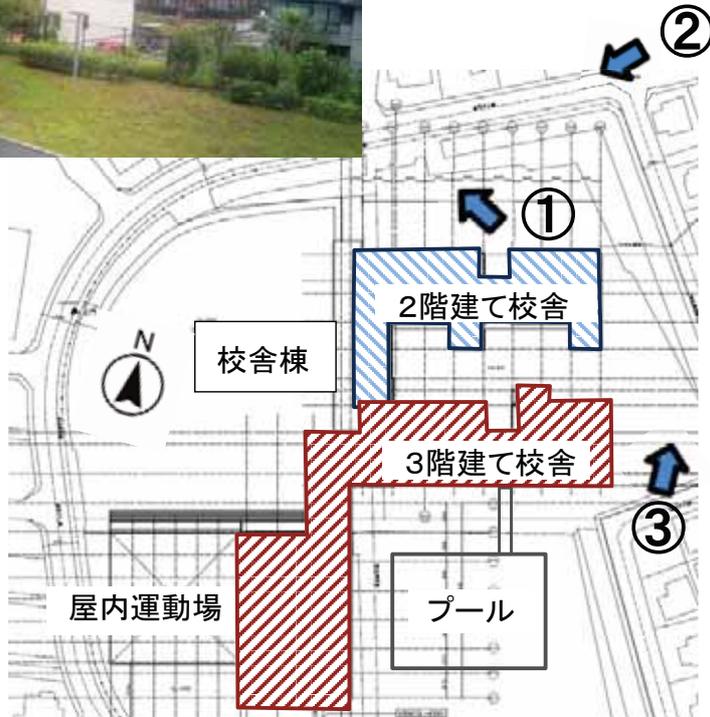


< 音楽教室 >

天井：岩綿吸音板貼り
 壁：有孔シナ合板目透し張り
 巾木：木巾木
 床：フローリング張

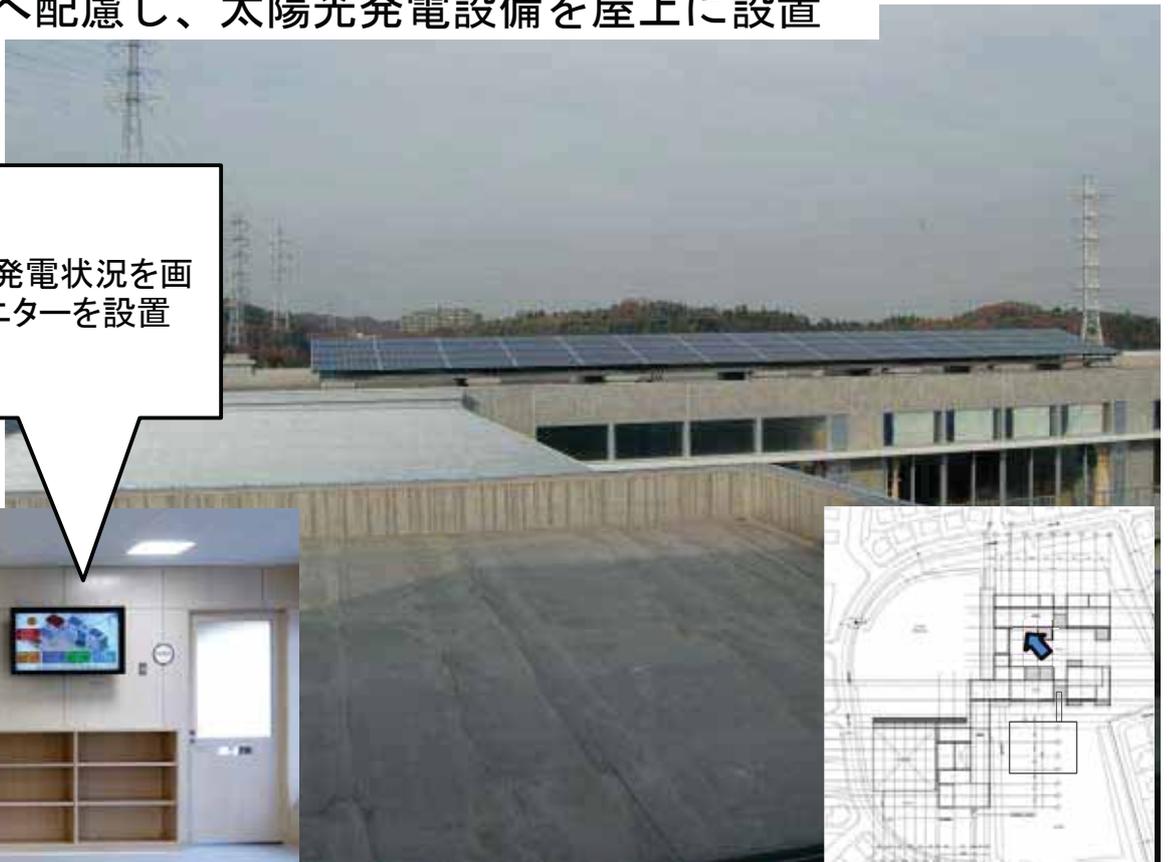
7) 周辺住宅へ配慮し、学校周辺を緑化

①



8) 環境へ配慮し、太陽光発電設備を屋上に設置

進路コーナーに発電状況を画像で見れるモニターを設置

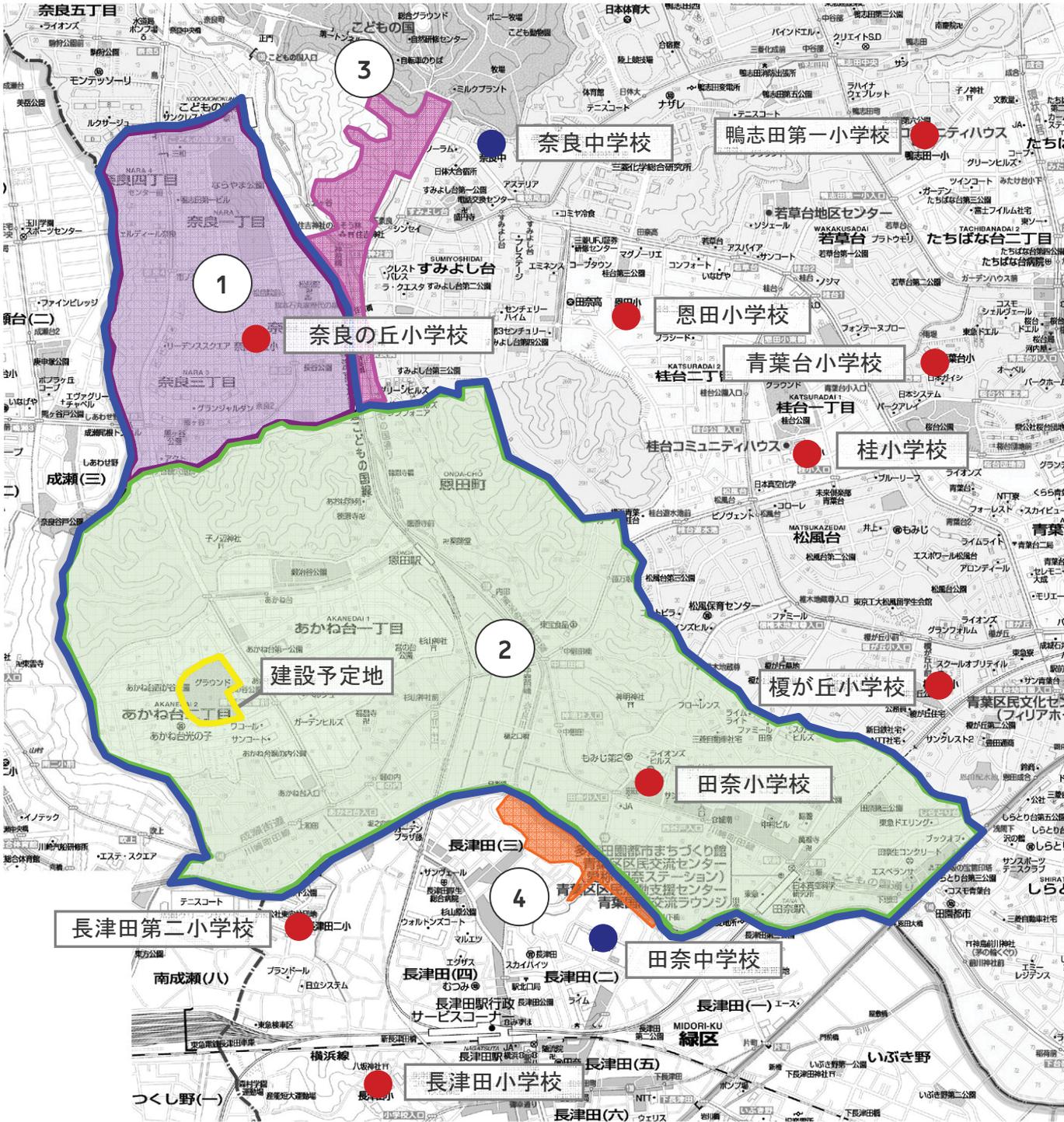


公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	田奈・奈良中学校第二方面校（仮称）整備事業
	場所 (所在地)	横浜市青葉区あかね台二丁目8番地1ほか 中学校予定地 21,350 m ² 第一種低層住居専用地域（建ぺい率40%、容積率80%）
	事業目的	田奈中学校（緑区）および奈良中学校（青葉区）の過密化を解消するとともに、生徒の教育環境の向上を図るため、青葉区内の学校予定地に中学校を新設します。
	事業内容	用地取得から、校舎・体育館等の建設、校庭整備まで
	事業スケジュール	基本設計・実施設計 平成20年 6月～平成21年3月 校舎、校庭等工事施工 平成21年10月～平成23年3月 開 校 平成23年 4月
	総事業費	約30億円 (内 訳) 用地取得費 約 5億円 ※土地開発基金から買替（平成21～22年度） 工事費 約25億円（うち国庫補助 約6億円）
事業の 必要性	<p>(1) 必要性 31学級を超える田奈中の過大規模校の問題点を解消し、併せて奈良中の大規模校の問題点を解消します。</p> <p>(2) 上位計画における位置付け・根拠法令等 学校教育法、学校教育法施行規則、中学校設置基準、横浜市立小中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針。</p> <p>(3) 適地性 当該地は既に中学校建設予定地として確保しており、田奈中学校と奈良中学校の間に位置しているため設置には適当と考えられる用地であります。</p>	

<p>事業の効果</p>	<p>(1) 教育環境の充実 過大規模校・大規模校の問題点を解消（過密化解消）することで、教室不足の解消や特別教室・体育館等の施設を使用する授業が適正に計画でき、教育環境の充実が図れる。</p> <p>(2) 快適な学習環境づくり 生活の場としての機能（採光や開放感のある施設配置等）を整備することにより快適な学習環境を提供できる。</p> <p>(3) 周辺環境に配慮した建物 周辺住宅への威圧感や日影に配慮し、学校周辺を緑化することにより、現在広場である空間を周辺住宅と一体感のある場所とすることが出来る。</p>
<p>環境への配慮</p>	<p>(1) 長期的な視点から、環境負荷の低減や経済性を考慮した計画とする。</p> <p>(2) 日照・騒音・圧迫感など近隣住民への影響を考慮した計画とする。段差のある敷地形状を極力生かし、かつバリアフリーとした計画とする。</p> <p>等の視点から、環境へ配慮した学校施設計画とします。</p>
<p>地域の状況等</p>	<p>通学区域、学校名及び通学安全に関して、自治会、町内会、PTA、関係学校長で組織する「田奈・奈良中学校第二方面校開校準備委員会」において、検討を行っています。</p>
<p>事業手法</p>	<p>公共発注方式</p>
<p>その他</p>	<p>特になし</p>
<p>添付資料</p>	<p>田奈・奈良中学校第二方面校（仮称）通学区域図（案）</p>
<p>担当部署</p>	<p>教育委員会事務局総務部施設管理課 石田、平山（TEL 671-3256～3258）</p>

田奈・奈良中学校第二方面校通学区域図



凡例

- ① 奈良の丘小学区の一部
- ② 田奈小学区の一部
- ③ 奈良町のうち、奈良の丘小学区
- ④ 長津田二丁目及び三丁目のうち、田奈小学区



田奈・奈良中学校第二方面校通学区域線